

10月31日(日)・大会2日目 9:00~12:10 (編集委員会セッション会場) (190分)

## ●編集委員会セッション

### 「—CFP 連動企画『社会の変化、組織の変化』—」

\* 島本実 (一橋大学大学院 経営管理研究科 教授) 司会兼任  
山田仁一郎 (京都大学 経営管理大学院 教授)

\* 代表報告者

## [ 概要 ]

この編集委員会セッションは、まず大会報告を募集し、それをブラッシュアップし、『組織科学』のCFP (コール・フォー・ペーパー: 特集テーマに関する投稿論文募集) に応募してもらうことを目的としたものです。今回の『組織科学』第16回特集論文公募 (以下、CFP16) テーマは、「社会の変化、組織の変化」と題し、市場や技術の急激な変化や、社会からの新しい要請に対応し、組織が変わっていく現象に関する論稿を募集します。本特集では、私たちが現象の観察結果を科学的に分析することに加え、観察の渦中の人間がどのように社会を観察してどのように行為を変えたか、あるいはそこから私たちが実際に何を学び行動を変えられるか、といった視点が重要になるでしょう。広義の質的アプローチ、エスノメソドロジー、ディスコース分析、批判的实在論、歴史分析やその他新しいアプローチの研究も歓迎します。

## [ 参加者へのメッセージ ]

今回は、昨年度の年次大会時の『組織科学』CFP・編集委員会セッションの連動企画の第二弾の開催となります。本セッションでは、CFP16の趣旨を学会員の皆様へお伝えすると同時に、CFP16への投稿を希望する正会員について、大会報告募集をいたします。本セッションでは、『組織科学』への投稿に至るまでCFPを主宰する特集号編集責任者 (SE) が、セッションのコメンテーターを務め、セッション内でアドバイスをいたします。大会報告者の報告内容に対して、SEが論文の方向性について助言いたしますので、大会報告者は、大会終了後じっくり論文を執筆していただき、2022年5月31日締切のCFP16にご応募ください。

その後は所定の審査を経て、2023年3月の論文掲載を目指すことになります。ぜひ若手の気鋭の研究者 (院生含む) の方の尖った研究発表・論文投稿を期待しておりますので、皆様遠慮なくご応募ください。もちろん、今回の年次大会での連携企画のセッションでのご発表が組織科学 CFP16 への投稿の条件となるわけではありません。またこの CFP16 の趣旨についての興味や質問がある方々にも積極的にセッションへのご参加を期待しております。

※研究成果報告形式